

所管課分析シート

※ 団体の設立目的を再確認し、存在意義・独立性の観点から見直しを行うためのシートです。今後の関与の方向性を整理するために記入してください。

令和6年7月1日 現在

1. 外郭団体に対する現状分析

所管課名	文化スポーツ	部 区	文化政策	課	担当者名 (連絡先)	熊倉 (32559)	所管する団体名	公益財団法人 會津八一記念館	
団体に求める 姿、取り組み	會津八一の遺墨・遺品・著書をはじめ會津八一に関する資料を調査研究し、文芸・芸術など学芸に残した業績を伝え、広く後学の研究と鑑賞に供し、教育・学術の交流に寄与いただきたい。また會津八一の文芸文化の幅広い層への周知により、市民文化の向上に寄与いただきたい。								
市の関与	直接的関与				間節的関与				増減の理由
	出資、出捐	100,000 千円			事業費補助金				千円
	派遣、兼務職員	常勤	名	非常勤	名	指定管理業務（公募）	施設	千円	
	運営費補助金				千円	随意契約でない委託契約	件	千円	
	指定管理業務（非公募）	1	施設	43,761	千円	その他市からの収入に繋がるもの			
	随意契約				千円				
	その他								
現状分析 (評価に関する観点の整理)	存在意義	団体の設立目的について（設立目的は達成されていないか）		市及び市民への貢献度について（設置目的に対する役割を果たしているか）		市直営事業との整理はできているか（事業の重複はないか）		事業活動の代替性について（民間事業者が類似事業を行えるか）	
	独立性	団体の自立的経営について（ヒト・コスト面で自立しているか）		団体独自の経営努力について（コスト面・サービス向上など）		随意契約の状況（競争性・透明性のない随意契約がないか）		課題への取組状況	
団体の必要性	新潟市の名誉市民である會津八一が残した業績を顕彰するため、各種展示業務や講演会等の事業を積極的に展開しているが、当事業を更に発展させていくためには、これまでの業務において培ったノウハウを活かし、幅広い世代へ向けた顕彰事業を継続的に実施していく必要がある。								
他団体との統合の可能性	設置目的を維持できれば、可能と考える。ただし、記念館が市へ寄附された際に、（公財）會津八一記念館が管理を行うことが寄附の条件となっている。								
今後の関与の方向性	<input type="checkbox"/> 関与の拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現行通り <input type="checkbox"/> 関与の縮小 <input type="checkbox"/> 関与の廃止					【左記とした理由】			
その他 (次年度へ向けた課題など)	中長期計画に基づく団体の取組みに対し、経営・財政基盤の安定強化が図れるように支援を行っていく必要がある。								

これまで通り団体の持つ知識やノウハウを活かしながら、団体と共に會津八一の業績の普及及び市民が文化芸術に触れる機会の提供を行っていく。

2. 外郭団体に対する改善指示事項への所管課としての関わり

No.	団体が抱える課題*	改善に向けた所管課の具体的な取り組み	関わったことによる成果	(未解決の場合) 今後の方針
1	後継者の育成・増員を検討しなければならない。	団体と随時連絡を取り、情報共有・検討を行った。	課題に対して、一定の結論を出すことができた。	
2	引き続き會津八一の業績を顕彰するため、各取組みについて、内容の検証と継続的展開が望まれる。	各企画展・特別展やイベントについては、随時市報にいがたなどへの掲載を行い、市民への周知・広報を実施した	令和5年度の特別展では計画を上回る来場者数となった。	魅力的な企画により、来館者増を図っているが、更なる入館者増・入館料収入増に向け、団体とともに取り組んでいく。
3	中長期計画の策定にあたっては、市が策定した新潟市文化創造都市ビジョンの方向性に沿ったものとされたい。	団体と随時連絡を取り、情報共有・検討を行った。	開館50周年事業の準備は着実に進んでいる。	令和6年度にビジョンの改定があったことから、逐次情報を行っていく。
4	各種イベントの実施を通じて増収に結びつけたが、赤字である。赤字の解消に取り組むべきである。	各企画展・特別展やイベントについては、随時市報にいがたなどへの掲載を行い、市民への周知・広報を実施した。	入館者数は昨年よりも増加している。各種イベントについては来場者から好評であった。	魅力的な企画だけでなく新たな広報手法を用いるなどして、更なる入館者増・入館料収入増に向け、団体とともに取り組んでいく。
5	今後どのような展示を希望するか、より多くのニーズを把握するため、アンケート調査の回収率を上げる等、有効なアンケート調査となるよう工夫が必要である。	団体と随時連絡を取り、情報共有・検討を行った。	アンケート回答による特典や、展示に関するクイズを実施するなど、回答いただくための工夫を行ってもらうような取組みをした。	更なる回収率の向上につなげられる工夫を団体とともに検討する。
6	在庫整理を適切に進めるため、不良在庫に対する評価基準の明確化や、評価の切り下げ等、適切な会計処理を行う必要がある。		部数の多い在庫を連続講座の特典にするなど、在庫管理の適正化が図られた。	来館者だけでない新たな図録・グッズ販路の検討や寄贈を通して、最終的に入館者増へつなげられるように団体と取り組んでいく。
7	中長期計画を補うものとして、事後的な評価ができるよう、客観的な成果指標を設定することが必要である。		市内中学校の来館校数は、前年度実績を上回った。校長会などで学校を通じて出前授業の周知を図った。	校長会などでの周知が実績につながるよう団体と共に検討する。
8	特別展や企画展といった展示事業は、関係各所に引き続き協力を仰いでいく必要がある。	団体と随時連絡を取り、情報共有・検討を行った。また、積極的に広報活動を行うことで市民への周知を行った。	展示内容に関するアンケート結果についても高評価が多かった。	魅力的な展示事業ができるよう、引き続き団体と協力していく。
9	在庫管理を適切に進めるため、不良在庫に対する考え方・評価基準を所管課と協議を進めながら明確にし、適切な会計処理を行う必要がある。	団体と随時連絡をとり、情報共有・検討を行った	在庫を一定数削減することができた。	適切な会計処理ができるよう、団体とともに協議を進める。
10	展示室が1室である。(廊下にも展示できるが)1室というのは内容は別として「ここだけ?」の感を抱かれる。なんとかボリュームを出したい。	現状では展示スペースの拡張は難しいため、限られたスペースで展示ができるよう、団体と検討を行った	展示スペースについて「適当」が85%だった。	適切な展示内容について団体と検討していく。

※外郭団体評価調査の「6. 経営改善状況(個別の取り組み)」に記載された「改善指示事項」が対象となります。